

研究機関名：小樽市立病院

承認番号	
課題名	大腸癌に対する大腸切除症例における術前骨密度低下およびサルコペニアの意義
研究期間	西暦日（実施許可日） ～ 2028年3月31日
研究の対象	2020年1月から2025年12月までの間に小樽市立病院 外科に通院または入院し、大腸切除を受けたもの。
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報（詳細：年齢、性別、画像所見、血液検査結果、手術情報、病理検査結果 等） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
試料・情報の管理について責任を有する者	小樽市立病院 院長 越前谷 勇人
研究の意義、目的	大腸癌患者では、高齢化や低栄養、慢性炎症などを背景にサルコペニアや骨密度低下（Low bone density: LBD）を認めることがあり、これらは術後合併症や長期予後との関連が報告されています。近年、両者が併存するosteosarcopeniaにも注目が集まっています。本研究では、大腸癌切除症例を対象に、術前CTから評価したLBDおよびサルコペニアと術後短期成績・長期予後との関連を検討し、両者の併存がもたらす臨床的意義を明らかにします。これにより、術前CTを用いた新たなリスク評価指標の確立と周術期管理の個別化に寄与することを目的とします。
研究の方法	期間中に当院で施行した大腸癌に対する大腸切除症例の採血結果や病理結果などの臨床病理学的背景を術前CT検査を用いた骨密度や筋肉量を指標にしてそれぞれ2群に分けて比較し、さらにその生存、再発およびその期間を比較します。
その他	特記事項なし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者 所在地；小樽市若松1丁目1番1号

	電話番号 ; 0134-25-1211
	研究責任者 : 小樽市立病院 外科 島田 慎吾